

総合舞台芸術を市民の手で！ 悲しい愛の物語で平和を願う

1997年11月、帯広市民文化ホールを会場に、帯広初の市民オペラ「カルメン」の公演が開催されました。平成の幕開けに設立された帯広交響楽団とともに「総合舞台芸術を市民の手で作りあげよう」と帯広市民劇場運営委員会が声を上げ、市民参加によるオペラ公演が企画されたのです。

大成功をおさめた市民オペラは、翌年、「帯広市民オペラの会」の設立につながり、2002年には「魔笛」が、そして2006年に「椿姫」、2011年に「トゥーランドット」、2015年は「こうもり」、さらに2019年に「カルメン」が開催されました。

第7回目となる本公演も、帯広市民オペラの会や帯広交響楽団に加え、市民バレエ「ティアラの会」、舞台スタッフ、衣装、メイクなど様々な分野に市民が参加して開催されます。また、公演には、障がいのある方々やJICA研修員の皆さんなどをご招待する予定です。

世界では紛争が絶えず、その狭間で涙する人たちが多くいます。今回の「アイダ」は、古代のエジプトとエチオピアとの戦争に翻弄されるエチオピアの姫アイダ、エジプト軍の期待の司令官ラダメス、そしてエジプトの姫アムネリスの三人が繰り広げる悲しい愛の物語です。公演を通じ、平和への思いが多くの方々に伝わり、そして地方から総合舞台芸術を発信していきたいと願っています。

第7回市民オペラ公演の概要

○公演日時；2024年12月21日（土）17時開場 18時開演

2024年12月22日（日）13時開場 14時開演

○会場；帯広市民文化ホール大ホール

○入場料

指定席⇒SS席（1・2階席）4,500円、S席（1・2階席）3,500円、A席（3階席）3,000円

自由席⇒B席（4階席）一般2,000円、高校生以下1,000円

○演目；ジュゼッペ・ヴェルディ作曲「アイダ」全4幕（イタリア語上演・日本語字幕付）

○主催；帯広市民オペラ公演実行委員会

（構成）帯広市民オペラの会、帯広交響楽団、市民バレエ『ティアラの会』、帯広市民劇場運営委員会、帯広市、帯広市教育委員会、一般財団法人帯広市文化スポーツ振興財団

○共催；公益財団法人北海道文化財団

○助成；公益財団法人全国税理士共栄会文化財団、公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団、伊藤組100年記念基金

○特別協賛；帯広信用金庫、GENESIS

○後援；北海道、十勝毎日新聞社、北海道新聞帯広支社、NHK帯広放送局、HBC帯広放送局、STV帯広放送局、

HTB北海道テレビ、UHB、帯広シティーケーブル、JAGA、おびひろ市民ラジオFM WING、帯広合唱連盟

【指揮・演出】

○指揮;柴田 真郁 (Maiku Shibata)



1978 年東京生まれ。国立音楽大学声楽科を卒業後、合唱指揮やアシスタント指揮者として藤原音楽劇劇団、東京室内歌劇場等で研鑽を積む。

2003 年に渡欧、ドイツ各地の劇場、オーケストラで研鑽を積みながら、04 年にはウィーン国立大学マスターコースでディプロムを取得。修了演奏会でヴィディン・シンフォニーオーケストラ（ブルガリア）を指揮した。同年末には、ハノーファー・ジルベスターコンサート（ドイツ）に客演し、

プラハ室内管弦楽団を指揮。翌年末のベルリン室内管弦楽団にも客演、2 年連続でジルベスターコンサートを指揮して大成功を収める。

2005 年、リウセ大劇場（スペイン・バルセロナ）のアシスタント指揮者オーディションに合格し、セバシュチャン・ヴァイグレ、アントニー・ロス＝マルバ、レナート・バルボンバ、ジョセップ・ヴィンセント等のアシスタントとして様々な演出家や歌手と関わり、上演で大きな信頼を得た経験は、オペラ指揮者としての礎となっている。

○演出;飯塚 励生 (IIZUKA Leo)

ニューヨーク出身。原嘉壽子「乙和の椿」で演出デビュー。

今までにサイトウ・キネン・フェスティバル、サントリー・ホール・オペラ、東京室内劇場「曾根崎心中、新日本フィル定期公演「ローエン格林」、東京交響楽団「ルブパ」日本初演で演出を手がける。

中でもサイトウ・キネン・フェスティバル「グレの歌」では「聴覚だけの《グレの歌》よりも、より作品を新しいものとさせる効果を持っていた」との高い効果を得た。（「音楽の友」誌 05 年 11 月号）



※出演者、スタッフ等は次号でご紹介します。

猛暑の夏ふきとばし 本格化してきた練習

6月以降、指揮の柴田氏、演出の飯塚氏が帯広入りし、指導をしていただきました。

合唱は、帯広市民オペラの会に公募の参加者が加わり、総勢約50名の「アイダ合唱団」、そしてオーディションを経て出演するアイダはじめキャストの方たち。オペラは、歌のみならず演技も重要です。この夏は暑い日が続きましたが、参加者汗だくになって練習に臨みました。

また、演奏を受け持つ帯広交響楽団の皆さんも指揮者から指導を受けました。

演技がついて、より練習に熱

アイダ合唱団とキャストの皆さんは、毎週練習を重ねていますが、8月10日、11日は指揮・柴田氏、演出・飯塚氏による集中稽古を幕別百年記念ホール講堂で開催しました。歌は得意でも演技が加わると歌詞を忘れてたり、歌に集中すれば演技がおろそかにと汗だくの合唱団。またキャストには細かな指示が飛んできます。

全員が緊張しつつも、密度の濃い練習に取り組みました。

この後、指揮・演出のお二人は9月下旬に帯広に来られる予定で、それまでに合唱団、キャストともしっかり練習を重ね、来る日に備えていくことになります。



よりよい音を求め指揮に集中

一方、帯広交響楽団は8月12日に指揮者からの指導をいただきました。オーボエやフルートなどの木管楽器のソロや微妙な弦楽器のリズムの刻みなどに、指揮者からの指示が飛び、空気が張り詰めた状態。でも時折、指揮の柴田氏がみんなの緊張をほぐす、絶妙の一言。



交響楽団は、9月に「親と子のわくわく音楽会」も控えているなかでの練習でしたが、着々と音作りがすすんでいます



第7回帯広市民オペラ公演実行委員会

本公演を実現するために7団体（帯広市民オペラの会、帯広交響楽団、市民バレエ『ティアラ』の会、帯広市民劇場運営委員会、帯広市、帯広市教育委員会、一般財団法人帯広市文化スポーツ振興財団）による実行委員会が組織されています。役員構成は次のとおりです。

実行委員長	松崎千枝子	（帯広市民オペラの会 会長）
副実行委員長	佐藤まさえ	（帯広市民オペラの会 副会長）
同	金澤はるみ	（帯広市民オペラの会 副会長）
同	平野なぎさ	（帯広市民オペラの会 副会長）
同	細川 吉博	（帯広市民オペラの会 副会長）
同	井村 悦夫	（帯広交響楽団 理事長）
同	西山このみ	（市民バレエ『ティアラの会』会長）
同	瀧川 秀敏	（帯広市民劇場運営委員会 委員長）
同	広瀬 容孝	（帯広市教育委員会 教育長）
同	長澤 秀行	（一般財団法人帯広市文化スポーツ振興財団 理事長）
監 事	天池 文彦	（帯広市教育委員会生涯学習部生涯学習文化課長）
同	宮浦 靖	（一般財団法人帯広市文化スポーツ振興財団文化振興部長）
事務局長	小島 清司	（帯広市民オペラの会 事務局長）

9月16日先行販売のようす



前売り券発売中！

9月20日（金）から販売がスタートしています。

●取扱い 帯広市民文化ホール（Tel0155-23-8111）、芽室町中央公民館（Tel0155-62-4680）

幕別町百年記念ホール（Tel0155-56-8600）、音更町文化センター（Tel0155-31-5215）

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※車椅子席をご希望の方は、帯広市民文化ホールへお申し込みください。

発行；第7回帯広市民オペラ公演実行委員会

担当；広報作業部会（帯広市民劇場運営委員会）～酒井保行、今野敏幸、船場光子、敦賀光裕

お問合わせ；帯広市民文化ホール（Tel0155-23-8111）